

塩谷都市医師会だより

Contents

- 1 平成26年度第4回役員会報告
- 2 学術講演会報告
- 3 新入会員紹介
- 4 文書配信システムの導入について

Vol. 77

一般社団法人 塩谷都市医師会 広報委員会

〒329-1312
さくら市桜野1319番地3
さくら市氏家保健センター内
TEL 028(682)3518
FAX 028(682)5760

平成26年度第4回役員会報告

平成27年3月9日(月)午後7時から医師会事務室で開催された。

出席者：山田会長・尾形副会長・岡副会長・阿久津・佐藤・半田・手塚・早川・村井・仲嶋・輕部・池田



第1号議案 第68回塩谷都市医師会定時総会について

第68回定時総会は4月11日(土)午後6時から、さくら市氏家の清水荘で開催されることになった。定款により、総会の前に平成26年度第5回役員会の開催と平成26年度決算関係書類の決裁が行われる。また、総会終了後に懇親会も行われる。

第2号議案 平成26年度塩谷都市医師会決算見込みについて

特に異議なく総会前の第5回理事会で上程される決算見込みが承認された。

第3号議案 第68回定時総会提出資料について

第4号議案 塩谷都市医師会文書配信システムの導入について

日医文書、県医文書、栃木県文書の通知が毎日塩谷都市医師会に多量に送られてくるが、その全てが一般会員に関係あるわけではない。事務局では、それらの文書から必要かつ重要と考えられるものを選択し、会員にFAXないし郵送で送っている。会員が必要とする文書を選択し全て閲覧できるようにするために、イン

ターネットを利用した文書配信システムを導入する予定であり、その説明と見積もりが示された。討議の結果、平成27年度から導入されることが決められた。

詳細は本号の4ページを参照。

第5号議案 平成27年度塩谷都市医師会事業計画について

第6号議案 平成27年度塩谷都市医師会予算(案)について

総会で上程される事業計画、予算書(案)について、特に異議なく承認された。

第7号議案 総会付議事項(さくら市医師団理事定数枠の検討について)

昨年3月3日の役員会でさくら市医師団から提出された「定数枠の検討」について協議された結果、従来経費削減のため定数ぎりぎりの10名だった理事数をさくら市、矢板市に1名づつ増員して12名とし、来年の役員改選から実施することになった。

また、塩谷都市医師会の早川正道理事が国際医療福祉大学塩谷病院を退職することに伴う理事補欠選挙が今度の定時総会で行われることになった。

栃木県医師連盟塩谷都市支部第1回役員会も開催され、平成26年度決算、平成27年度事業計画、予算書(案)について話し合われた。また4月に行われる県会議員選挙において、塩谷都市支部は塩谷町から立候補する民主党の船山幸雄氏を推薦することになった。船山氏は本医師会と同様、塩谷町の放射性廃棄物最終処分場の建設に反対している。

第68回総会開催のお知らせ

日時：4月11日(土)午後6時から

場所：さくら市氏家 清水荘ホテル

※総会終了後、懇親会も開かれますので多くの会員の参加をお願いします。

塩谷都市医師会ホームページ/メール	広報委員会編集部	医師会事務局
URL http://www.tochigi-med.or.jp/shioya/ メール shioya@tochigi-med.or.jp	岡一雄 r2d2@msh.biglobe.ne.jp 尾形新一郎 ogata@o-ga-ta.or.jp	糸川 kumekawa.shioya@gmail.com 高橋 takahashi@e-shioya.jp

学術講演会 1 「気管支喘息診療の最前線」

日時：平成 26 年 11 月 18 日

講師：東邦大学医療センター大橋病院

呼吸器内科教授 松瀬 厚人 先生



気管支喘息の治療はステロイド吸入薬の普及により、随分様相が変わってきたが、松瀬先生は呼吸器疾患は胸部X線撮影などをを行うことによりきちんと鑑別診断を行うことが基本であることを強調された。その上で気管支喘息の吸入ステロイドの肝を教えていただいた。

また、日本人に多いアルコール分解酵素の少ない人（アルコールで顔が赤くなる人）はアルコールを飲むことにより喘息発作が起きる事や喫煙者はステロイドが効きにくいなど話題豊富な講演であった。

学術講演会 2 「心房細動の内科管理の実際 抗血栓療法の重要性」

日時：平成 26 年 12 月 9 日

講師：自治医科大学付属病院 内科学講座

循環器内科部 准教授 今井 靖 先生

心房細動によって惹起される脳梗塞の予防薬が最近何種類も発売されている。今回の今井先生の講演は内服薬やカテーテルアブレーションなどの心房細動の治療から抗血栓薬の使い分けまでわかりやすく説明する内容だった。会場からは内科ばかりではなく、眼科や耳鼻科などの手術時や出血時の対応などについてなど多くの質問があり、大変有意義な講演会であった。



学術講演会 3 「誤診されがちな循環器疾患」

日時：平成 27 年 1 月 13 日

講師：那須赤十字病院

循環器内科部長 矢野 秀樹 先生

今回は、県北の3次医療機関の最前線で循環器疾患を診療している矢野先生に講演をしていただいた。



典型的な症状を呈する循環器疾患から一見別の疾患を疑ってしまう循環器疾患まで様々な症例を提示され、普段の診療に役立つ内容であった。

学術講演会 4 「前立腺癌の診断と治療の最先端」

日時：平成 27 年 2 月 17 日

講師：国際医療福祉大学病院

腎泌尿器外科部長 内田 克紀 先生



内田先生のお話では、前立腺癌の死亡率は現在第4位であるが2020年には第1位になると考えられている。米国のPSA検診受診率が8割ほどなのに比べ日本は1割程で、検診の低さが問題で住民への啓蒙活動が必要である。前立腺癌の治療は手術、放射線、内分泌療法など様々で患者の病態や本人へのインフォームドコンセントで治療法を決めている。また2012年4月からダビンチサーチカルシステム（ロボット医療）が保険適用となったが、まだまだコスト面で課題が多いとの事だった。

学術講演会および新年会

「糖尿病の最新治療の流れ－SGLT2阻害薬の臨床経験を通じて－」

日時：平成 27 年 1 月 23 日

講師：上都賀総合病院 糖尿病センター

センター長 松村 美穂子 先生

昨年の春、腎臓の尿細管に作用する新しい糖尿病薬として登場したSGLT2阻害薬であるが、脱水症、脳梗塞、尿路感染症など従来の糖尿病薬にはない副作用が認められ、



一般的の開業医には使いにくい印象がある。今回の松村先生の講演はSGLT2阻害薬の豊富な臨床経験を踏まえたもので今後の使用に大変参考になる内容であった。



講演会の後、松村先生を交えて新年会を兼ねた懇親会が開かれた。また、新入会員として黒須病院の竹内克彦先生が紹介された。今回の新年会はホテル東日本宇都宮で開かれたこともあり、多くの会員が参加し親睦を深めた。

かかりつけ医認知症対応力向上研修会

日時：平成 27 年 1 月 28 日、2 月 4 日

講師：佐藤クリニック院長 佐藤 泉 先生

栃木県主催かかりつけ医認知症対応力向上研修会が 2 回に分けて行われた。講師はさくら市の佐藤クリニック院長の佐藤泉先生で、先生は塩谷郡市医師会で 3 人しかいない認知症サポート医の一人である。佐藤先生、研修会での講演、お疲れ様でした。



主治医研修会

「かかりつけ医が知っておきたい主治医意見書の書き方と認知症高齢者の対応」

日時：平成 27 年 2 月 24 日

講師：新宿ヒロクリニック院長 英 裕雄 先生



介護保険の介護度認定審査では主治医意見書の役割は大きいが、われわれ医師は病気や病状を中心とした記載となりがちで、介護という視点での記載が足りない傾向がある。講師の英先生は訪問診療を積極的に行って、みどりもされている。その経験をもとに主治医意見書の書き方や認知症高齢者の対応について、診察室で患者さんを診ているだけでは分かりにくい症例などを具体的に解説してくれた。

介護保険の介護度認定審査では主治医意見書の役割は大きいが、われわれ医師は病気や病状を中心とした記載となりがちで、介護という視点での記載が足りない傾向がある。講師の英先生は訪問診療を積極的に行って、みどりも

初期救急医療（脳卒中分野）研修会 「脳卒中治療—予防から慢性期まで—」

日時：平成 27 年 3 月 3 日

講師：獨協医科大学神経内科

准教授 竹川 英宏 先生



栃木県の委託事業として栃木県医師会主催の初期救急医療（脳卒中分野）の研修会が開催された。この研修会は塩谷地区が 2 市 2 町で行っている休日当番や塩谷地区おとなこども夜間診療室に参加している医師を対象としたもので初期救急力を高めるための研修会だった。

✿新入会員紹介

矢板南病院

塚本俊彦先生

黒須病院

竹内克彦先生



8 月 9 日(日) しおや湧水の里ウォーク（塩谷郡市医師会後援）開催、参加者募集中！！



8 月 9 日、塩谷町の自然を知ってもらおうと「しおや湧水の里ウォーク」が開催される。標高差 500m、40.8 km、制限時間 9 時間で全国名水百選に選ばれた尚仁沢湧水や西荒川、大滝などの自然を満喫し、マイナスイオンを感じる事ができる長距離ウォークで、普通の体力の方なら完歩可能。参加費 4000 円、申し込みは 6 月 30 日まで。

大会ホームページ <http://www.408walk.com/>
問い合わせ先はメール 408@e-shioya.jp

塩谷都市医師会文書配信システムの導入を行います。

当医師会では、日本医師会・栃木県医師会・栃木県及びその他行政からの通知文書については、必要により一斉FAXや郵送により配信しておりますが、今後これらの通知文書全てについて富士ゼロックスのクラウドサービスを活用した配信システムを構築して、最新の全文書が常時閲覧可能となるよう現在準備を進めておりますのでお知らせ致します。

【環境条件】インターネットに接続できる環境のPC・iPAD・スマートホンが対象となります。

環境条件の無い会員は、従来同様のFAXや郵便物でお知らせします。

【メリット】①文書見出しから必要なもの興味のあるものが、常時閲覧可能となります。

②最新の情報が取得できます。

③必要なないFAXや郵便物が少なくなります。

④会員以外の事務長・事務員等、医療関係者の誰もが閲覧可能となります。

【変更対象外文書】学術講演会・委員会開催通知・必要な一斉FAXは、従来同様FAX通知で行います。

【事前準備】栃木県医師会が採用しているドキワースという文書方式が、閲覧できるように予め無償版ソフトドキュワースリーダーをPCにインストールしていただきます。

無償版ソフトは、CDにして後日送付いたします。

ID・パスワードが必要になりますので、後日お知らせいたします。

【実施時期】平成27年度中の早い時期に稼働するよう準備を進めてまいります。

※詳細な取扱い方法について、後日お知らせいたします。

【文書配信システムの概要図】

